

服用に当たって、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

## かぜ薬

# クミアイ感冒K

- クミアイ感冒Kはピリン系の薬を含まない、甘くて飲みやすくした顆粒状のかぜ薬です。胃の中でとけやすく、かぜ熱、咳や痛みを軽快させます。
- かぜの発熱は体力を消耗させ、食欲不振、疲労、倦怠感を強めます。本剤はかぜの発熱などで特に消耗しやすいビタミンB<sub>2</sub>を補い、かぜの諸症状の快復をたすけます。

## ⚠ 使用上の注意

### ❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

#### 1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 12歳未満の小児。

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

#### 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

（眠気等があらわれることがあります。）

#### 4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

#### 5. 服用前後は飲酒しないでください

#### 6. 長期連用しないでください

### 🗨 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。  
高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。  
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンスジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
便秘、口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 効能・効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

## 用法・用量

次の1回量を1日3回食後なるべく30分以内に服用します。

15歳以上	1回	1包
12歳以上15歳未満	1回	2/3包
12歳未満	服用しないこと	

### <用法・用量に関する注意>

- 用法・用量をお守りください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 1包を分割して使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。

## 成分・分量(3包中)

アセトアミノフェン……………	600mg	dL-メチルエフェドリン塩酸塩…	50mg
エテンザミド……………	500mg	無水カフェイン……………	100mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩…	7.5mg	リボフラビン(ビタミンB <sub>2</sub> )……………	10mg
ジヒドロコデインリン酸塩……	24mg		

添加物として乳糖、白糖、サッカリンNaを含有します。

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

お客様相談室 大生堂薬品工業株式会社 058-271-9481  
(9:00～17:00 土、日、祝日を除く)

製造販売元 **大生堂薬品工業株式会社**  
岐阜市六条大溝3丁目3番17号